

かほく市図書館 友の会だより

発行日 2015年11月25日

発行者 かほく市図書館友の会

〒929-1173 かほく市遠塚口57-6 かほく市立中央図書館内

第11号



かほく市生涯学習フェスティバル 図書館まつり

第2回 わくわく紙しばいカーニバル

図書館まつり1日目、お話の部屋にて10時より紙しばい部会会員6名で「わくわく紙しばいカーニバル」を開催しました。

当日は小雨で少し寒く、図書館内は人もまばらで「どなたも来なかったらどうしよう。」と心配しましたが、親子連れ、大人の方と25名ほどご参加いただけました。手遊びで心も体もほぐれたところで、紙芝居のはじまり～はじまり～。

小さなお子さんが楽しめるお話で始まり、親子で楽しめるお話、大人も楽しめるお話、昔話や民話も交えて色々なお話を演じました。

今回は、紙芝居を創作している会員が参加し、オリジナルの紙芝居を演じました。最後は、親子でスキンシップができる紙芝居で終わりました。普段は紙芝居にふれあえる機会が少ないと思いますが、紙芝居も絵本や本と同じように楽しんでいただけたらと思います。

紙芝居が気になる方、楽しんでみたい方、よろしければ図書館友の会 紙しばい部会を見に来てください。紙芝居を楽しんでいる会員の方々も見てくだされば幸いです。



大人もくぎづけ



手作りのプレゼント



友の会の歩みパネル展示

「図書館まつり」の機会に“図書館友の会”を多くの市民のみなさんに知っていただきたいと、『友の会の歩み』と題して、友の会の行事写真（説明付き）と友の会だよりを掲示しました。

古本市

10月31日（土）・11月1日（日）の2日間にわたり、図書館主催の古本市に友の会として協力しました。

プログラム

♪～ おべんとうばこのうた ～♪

1. りんごくんのおうちはどこ？
2. おにぎり おにぎり
3. こめだしえびすさま
4. ぴよんぴよんによきによき

♪～ だいこんずし ～♪

5. こぶたのとことこ
6. がらがら ごろごろ
7. うっへるとちっこり(創作紙芝居)
8. てんてんのうた
9. さるとかに
10. サルとカニのもちつき
11. はい、タッチ



第4回 図書館見学会



コスモアイル羽咋の中にある「羽咋市立図書館」と 毎年オリジナル本を発刊している「志賀町立図書館」へ!! ～前田家ゆかいの「妙成寺」と加賀藩十村役「喜多家」見学も!～

9月3日木曜日、図書館の中田さんにも参加していただき、総勢22名で平成27年度の図書館見学会が行われた。

まずは「羽咋市立図書館」。宇宙カプセルや、月面車の試作機などが展示してあるコスモアイルの1階にある。なんとこの図書館は、平成14年から民営化されている。勤務面で厳しいこともあるが、スピーディーに仕事が進むと、にこやかに語る副館長の谷内氏。



きれいに整った書架。朝の清掃時に整えるとのこと。



次に「志賀町立図書館」。「ここの特色は、平成10年から取り組んでいる郷土資料整備事業。」と語る森さん。「はなが」誌目録をスタートに、版画・古文書のデータ化、坪野哲久小説集の発刊と進めていき、「うちの町の資料はうちの町の図書館で」を合い言葉に、たくさんのオリジナル本を発刊している。



昨年発刊の民話2冊の原画展が開催されていた。さし絵は職員の方(写真左)というのがすごい!



見やすい見出し



喜多家では、喜多家当主が直々に説明してくださった。解説を聞きながら見られて、わかりやすかった。

玄関が3つに分かれている喜多家。私たちは、農民の玄関から。



妙成寺では、最近来たばかりという若いお坊さんの解説で、初めて知ったことのオンパレード。



1たす1は?! (会長)

2~!(^_^) (みんな)

参加者の声

M.Hさん

友の会会員になり、初めての見学会参加でしたが、不届きにも図書館ではなく、妙成寺と喜多家見学に心を動かされてのものでした。

しかし、両図書館とも足を踏み入れた途端、書架に整然と分類され収まった本に圧倒され、本来の目的を思い起こしました。特に志賀町立図書館では、分野ごとに細かく分類され、また本よりも飛び出した形で著者名などを表示し、利用者にわかりやすく工夫されているのに感

心しました。さらに職員の方が描かれた絵本のさし絵が、プロ並みの出来映えであることに驚かされました。中央図書館も分類表示等を参考に改善したらと思いました。でも閲覧スペースは中央の方が明るくゆったりしていると感じました。

当初の目的の一つ喜多家は、きれいに手入れされた広い庭・屋内、さらに当主の軽妙洒脱な説明に、十村役等のいわれも知ることができ、期待以上でした。充実した1日を過ごすことができ、友の会の一員であることに感謝しました。

第7回 友の会の集い



- ①じいちゃんの冒険旅行(紹介):岡田 正氏(元中央図書館長)
- ②わたしの本の借り方(交流)

今年は予定通り8月9日(日)に29名の方の参加で行うことができました。今回も2部形式で行いました。

☆1部

元図書館長の岡田正氏が、6月8日から19日まで、イギリス・オランダをフリープランでひとり旅をなさいました。得意な英語を生かしながら日本で交流を結ばれた方々との再会の様子、美しい風景や建物、そして各都市のホールでの演奏会のすばらしさ、また空港について迎えがいなかったときの騒動など個人旅行ならではのハプニングもお話しいただきました。



☆2部

いすの並びを輪に替えて、図書館で本を借りるとき、どんなふうに本を選んでいるかを語り合いました。

新聞や雑誌・ネットなどから、友人の薦めから、図書館の展示の中から、介護や老後・整理の仕方・折り紙や料理などすぐ役に立つものから、以前読んで知っているけど読み込んでいない本から・・・などいろんな選び方・借り方がリラックスした雰囲気の中で、話されました。

常日頃から読みたい本をリストアップし、記録しておいて探す、検索して欲しい本がなければ、「ラッキー！」と考え、他の本を手に取り「めっけもの」との出会いを大切に、貸出期限があるのはそれまでに読むぞ！という気持ちになれるからよいことだ・・・等の意見に、みなさん大きく頷いていらっしゃいました。

定刻を5分越え、楽しく有意義な集いとなりました。

■参加者の声

K.T さん

借りたい本が図書館になかった時、残念と思うのではなく、読書の世界を広げるチャンスと捉えます。読む本を選ぶ時に、どうしても偏ったジャンルの本になってしまうからです。

何となく気になる本、あまり読まれていないような本を借りて読みます。人はそれぞれ考え方や関心事も違いますから、誰にも読まれていない本の中に私自身がワクワクすることがあったりします。未知の情報を得る楽しみ、美しい文章を見つけた時の嬉しさは、心の宝物探しのように本を読む幸せを感じます。

図書館に集う人との交流によっても好奇心が刺激されます。欧州ひとり旅のお話では、タブレットを手にした岡田先生の、空港で最新情報ツールと格闘する様子を想像するなど興味は尽きません。

多様な価値観を知り、豊かな想像力で考え方を学ぶ楽しい時間でした。

友の会 談話室

小さいころ好きだった本

かほく市立中央図書館 小村 和代

自分の好きなものを話す時は、誰でもキラキラした顔をします。先日ある人に「小さい頃好きだった本ある？」と聞いたらいつにない笑顔で「さむがりやのサンタ」だと教えてくれました。クリスマスの定番絵本であるレイモンド・ブリッグズのその本を、クリスマスのお薦めとしてではなく、小さい頃一番好きだった本として選んだ意外性に、身を乗り出して話をききました。

私が小さい頃好きだった本は2冊。「ぐるんぱのようちえん」と「だるまちゃん」とんぐちゃん」。実は好きだっ

たという記憶はないのですが、大人になって絵本を見た時に、懐かしいと鮮明に思い出されたのがこの2冊でした。正確にいうと覚えていたのは表紙のみで、話はすっかり忘れていました。大人になって読んでみると、子どもの時に読んだ感覚は思い出すことはできなかったけれど、大人になって読んでもいい本だなあと思いました。そして時々思い起こして眺めるようになりました。

文筆家の松浦弥太郎さんは「ぼくにとって本とは、出会いもあれば別れもあり、長い付き合いもあれば、短い付き合いもある。すぐに仲良くなれる本もあれば、仲良くなるのに時間がかかる本もある。そう、人と本はまるで一緒だと思っている」と書いています。

小さい頃好きだった本は、ある時期離れていても、月日を経て、再会する機会を得る。だから、図書館に来る子どもたちにはいい本を届けたいと思っています。

古本市にいらっしゃった人30人に聞きました! ~Part1~

図書館まつりで開催された古本市にいらっしゃった方に、アンケートを実施しました。アンケート結果を今後の読書の参考にしてみてはいかがでしょうか?

1. 子どもの頃の思い出に残っている本を教えてください。

・もちもちの木・ノンタン・昔話(桃太郎、金太郎など)
・ラスカル・ロッタちゃんのお引っ越し・ふしぎな国のアリス・ジャングルブック・100万回生きたネコ・ロビンソン漂流記・ぐりとぐらシリーズ・THE THREE LITTLE PIGS・覚えていない、特にない 13人

2. 最近読んだ本でおもしろかった本を教えてください。

・下町ロケット(池井戸潤)・はてしない物語(エンデ)・にんたまらんたろう・くもの糸(芥川龍之介)・母性(湊かなえ)・嫌われる勇氣・葉根タン・すべての道はローマへつづく(塩野七生)・ナポレオンの村・11匹のねことあほうどり(馬場のぼる)・海賊と呼ばれた男(百田尚樹)・忘れられた巨人(カズオ イシグロ)・蔵・阪急電車・ありがとうございます
・覚えていない、特にない 7人

アンケートにご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

友の会活動予定

● リサイクル本収集

今後ともご寄付をよろしくお願いします!

かほく市立中央図書館 階段下のリサイクル本入れで常時受け付けております。

● 応援ボランティア

やってみたいと思う方はボランティアルームまでおこしてください。

【開催日時】

■ 第1・3・5週 14:00~15:30

■ 第2・4週 10:00~11:30

12月 1日(火)、12月 15日(火)
1月 5日(火)、1月 19日(火)
2月 2日(火)、2月 16日(火)
3月 1日(火)、15日(火)、29日(火)

12月 8日(火)、12月 22日(火)
1月 26日(火)
2月 9日(火)、2月 23日(火)
3月 8日(火)

【作業内容】本の書架整理、汚れ落とし、修理などを行います。

● 古本朝市

【開催日時】2016年2月21日(日)

【会場】かほく市立中央図書館 2階

● 友の会の集い

2016年1月末に予定しています。詳細ははがきでお知らせします。



編集後記

11月6日付北國新聞に「絵本のメニュー 給食」と題のついた記事が載っていました。

かほく市全6小学校で「絵本から飛び出した給食」が提供されたそうです。「からすのパンやさん」のリンゴパンや「14匹のかぼちゃ」のカボチャコロッケなど。

とても良い取り組みだなあと思いました。この絵本を読んだことのある子どもなら、興味を持っておいしく頂くことができたでしょう。読まない子どもでも、このメニューが載っている絵本を読んでみよう、と思ったことでしょう。私も絵本に出てくるお菓子や料理は読んで「おいしそう・・・どうやって作るのかな・・・」と思いを巡らせたことがありました。皆さんも思ったことがあるのではないのでしょうか?この「思い」を企画し、実現した図書館司書の方や栄養士の方々にとっても感心しました。お菓子が絵本から飛び出して、3次元となって目の前に現れるって素敵な取り組みです。そこからまた色々な夢や空想も広がりますよね。この取り組みは来年2月5日にも開催されるそうです。給食を食べる子どもたちがうらやましいですね。

今年最後の発刊となる会報です。ご協力頂いた皆様に感謝いたします。

(新田)

現在の会員数 120名

入会のお申し込みは、中央図書館サービスカウンターにて随時受け付けております。